

9月定例会 平成20年度 決算を認定

一般会計 歳入 140億9,485万5千円
 歳出 136億3,593万1千円
 (翌年度に繰り越すべき財源 1億500万9千円)
 実質収支額 3億5,391万5千円の黒字

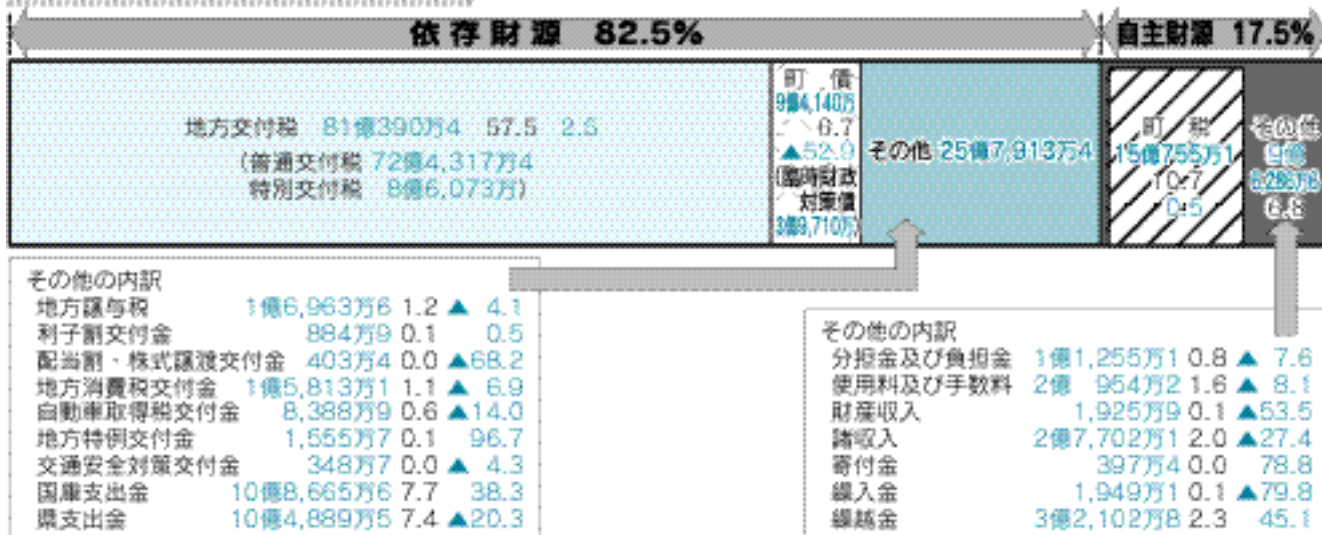
* 平成20年度の財政分析指標 *

	平成19年度	平成18年度
財政力指数(単年度)	20.9%	21.8%
実質収支比率	3.7%	3.2%
経常収支比率	95.2%	99.2%
公債費比率	15.3%	18.1%
起債制限比率	14.8%	15.5%
公債費負担比率	23.9%	25.1%
実質公債費比率	20.8% (3カ年平均)	21.0%
(特別会計を含む)	20.1% (単年度)	20.9%
将来負担比率	176.9%	187.6%

歳入の状況(一般会計)

平成20年度歳入合計 140億9,485万5千円 100% ▲6.5%

科目 決算額(千円) 構成比% 対前年度比%



歳出の状況(一般会計)

平成20年度歳出合計 136億3,593万1千円 100% ▲7.6%

(性質別歳出)

科目 決算額(千円) 構成比% 対前年度比%



Eye&



平成20年度の歳入決算額は、収入未済額が総額で12億4,258万3千円となっているが、これは、繰越明許費の10億8,115万円の未収入が大きな要因であり、これを差し引いた実質の収入未済額は、1億6,143万3千円である。町税収入の収納率は現年課税分で、98.2%となっている。歳出決算額は予算現額に対し90.1%の執行率で前年度

に比べ6.3ポイント下回っている。義務的経費は、前年度と比較すると、総額で2億7,445万9千円の減となっている(歳出総額に占める割合は約48%、対前年度比▲4.0%)。投資的経費は、一般廃棄物処理施設等の完成、漁港事業の減少で、前年度比▲46.5%となっている。物件費は、清掃センターや環境センター等の業務委託経費等の増により、2,079万9千円、1.6%の増となっている。